



**熊本県農林水産業の  
ブランド力・生産力・流通力の向上の取組み**

# 熊本県農林水産業のブランド力・生産力・流通力の向上

## 食のブランド化と流通の円滑化

- ①トレーサビリティの導入による消費者の信頼確保
- ②フードバリューチェーンの最適化による新たな付加価値の伝達
- ③大都市圏への県産品供給を維持するための物流体制の構築

## 地元消費（地産地消）の推進

- ①学校給食における地元食材の利用、理解促進
- ②直売所のネットワーク化による消費促進

## 令和2年7月豪雨の被害を受けた県南地域の振興

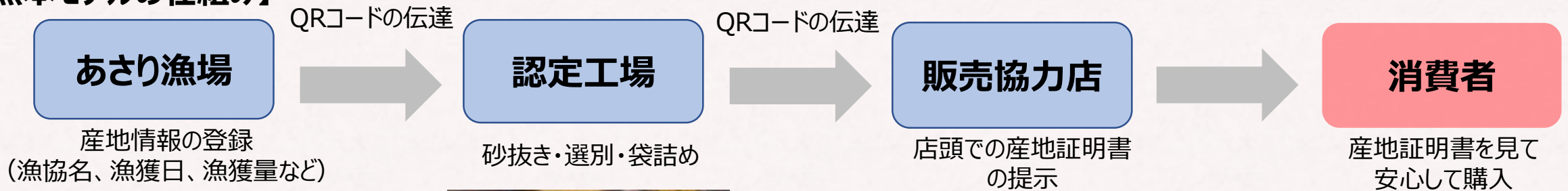
- ①田んぼダムの実施の推進（球磨川流域治水プロジェクト）
- ②多様な企業等の農業参入促進と地域経済の活性化
- ③「くまもと県南フードバレー構想」の更なる推進と地場企業の育成

# 食のブランド化と流通の円滑化

## ①トレーサビリティの導入による消費者の信頼確保

県産品を消費者が安心して購入できるよう、トレーサビリティシステムの導入・定着を支援。  
また、食害対策や育成支援など資源回復の取組も併せて実施（熊本県産あさり等を想定）。

### 【熊本モデルの仕組み】



# 食のブランド化と流通の円滑化

## ②フードバリューチェーンの最適化による新たな付加価値の伝達

各事業者ごとの収益の最大化（部分最適）の考え方から、生産から消費に至る各事業者が情報・目的を共有し、新たな付加価値を創出することで、全体の収益を高める（全体最適）考え方へ転換（関係者による話し合いの場づくりを支援）



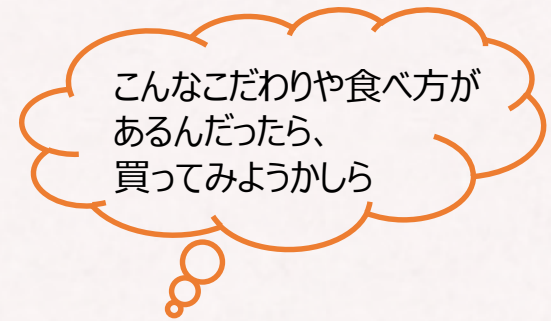
情報・目的を共有する場をつくり  
付加価値を消費者まで伝達（新たな価値の創出）

・食味、安全性、機能性  
（栄養素など）、こだわりなど

・食材の特性を活かした製造

・効率的な輸送、鮮度保持

・農家の顔が見える販売  
・料理レシピの提供



生産者

製造・加工

流通

販売

消費者

# 食のブランド化と流通の円滑化

## ③大都市圏への県産品供給を維持するための物流体制の構築

2024年問題を見据え、今後も安定的に大都市圏へ食料を供給できるよう、持続可能な物流体制を構築するため、パレット輸送や共同輸送などにおける課題を解決するための取組みを支援。

2024年4月から、  
トラックドライバーの時間外労働時間の  
上限規制が適用

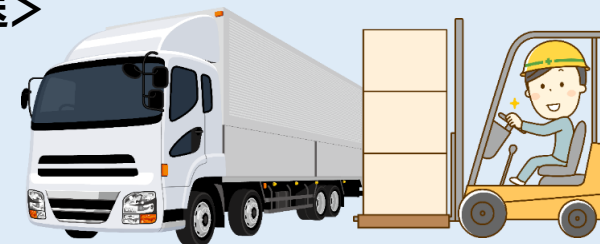


熊本県主要農産物の  
大都市圏向け出荷割合

品目	大都市圏向け 出荷割合
トマト	79%
なす	69%
すいか	87%
メロン	66%
いちご	76%

### 持続可能な物流体制の検討

#### <パレット輸送>



#### <共同輸送>



# 地元消費（地産地消）の推進

## ① 学校給食における地元食材の利用、理解促進

豊かな地元食材を使用した給食の提供を支援。

県は毎月19日（食育の日）、学校給食に県産品を活用し、熊本の伝統料理や郷土料理の献立を提供する「ふるさとくま（熊）さん（産）デー」を実施。

県内の学校給食のお米や牛乳には、すべて県産品を使用。



# 地元消費（地産地消）の推進

## ②直売所の広域ネットワーク化による消費促進

出荷者の高齢化、農産物閑散期の発生などの課題解決のため、県内直売所間のネットワーク化を支援し流通を促進。

地産地消の促進、廃棄ロス削減だけでなく、熊本地震や令和2年7月豪雨災害の経験から、災害時等における食料品の提供拠点としても、県内直売所間のネットワーク化を支援。



協議会ロゴマーク



協議会による共同イベントの実施



# 令和2年7月豪雨の被害を受けた県南地域の振興

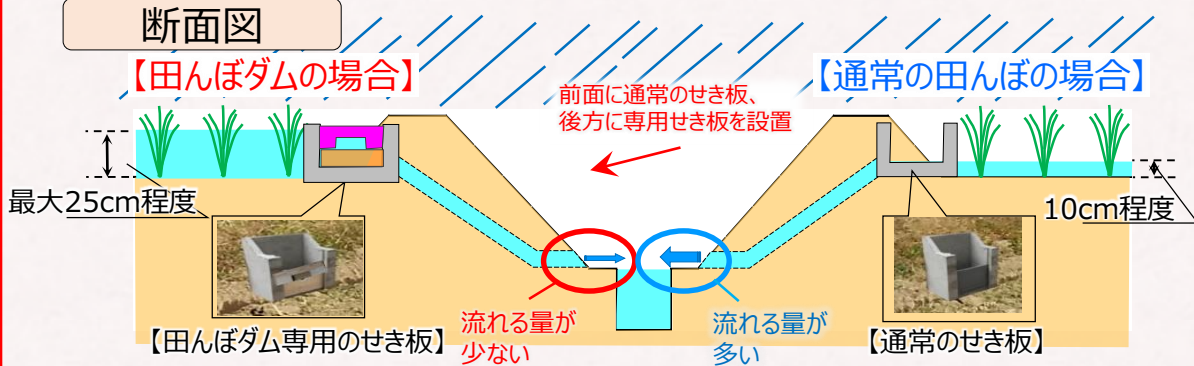
## ① 田んぼダムの取組みの推進（球磨川流域治水プロジェクト）

球磨川流域の各地域と連携した水田貯留機能のフル活用（人材育成や普及啓発等）を支援。

### ○「田んぼダム」の仕組み

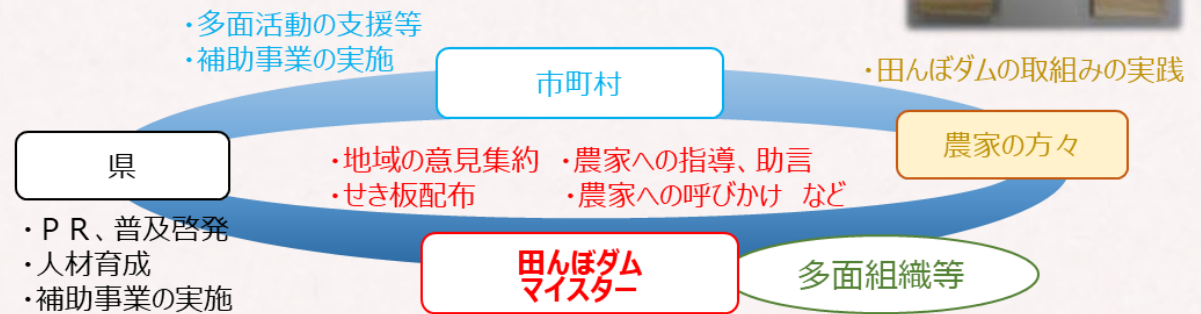
- ・水田の排水柵に流出量を調整するせき板を設置して、水田の雨水貯留効果をフル活用する取組みです。

#### 断面図



### ○各地域の取組みをけん引する人材の育成

- ・本取組みは、地域の草の根的な活動により拡大していくものであり、これを加速化させるため、地域における効率的な取組みをけん引する人材（田んぼダムマイスター）を育成します。



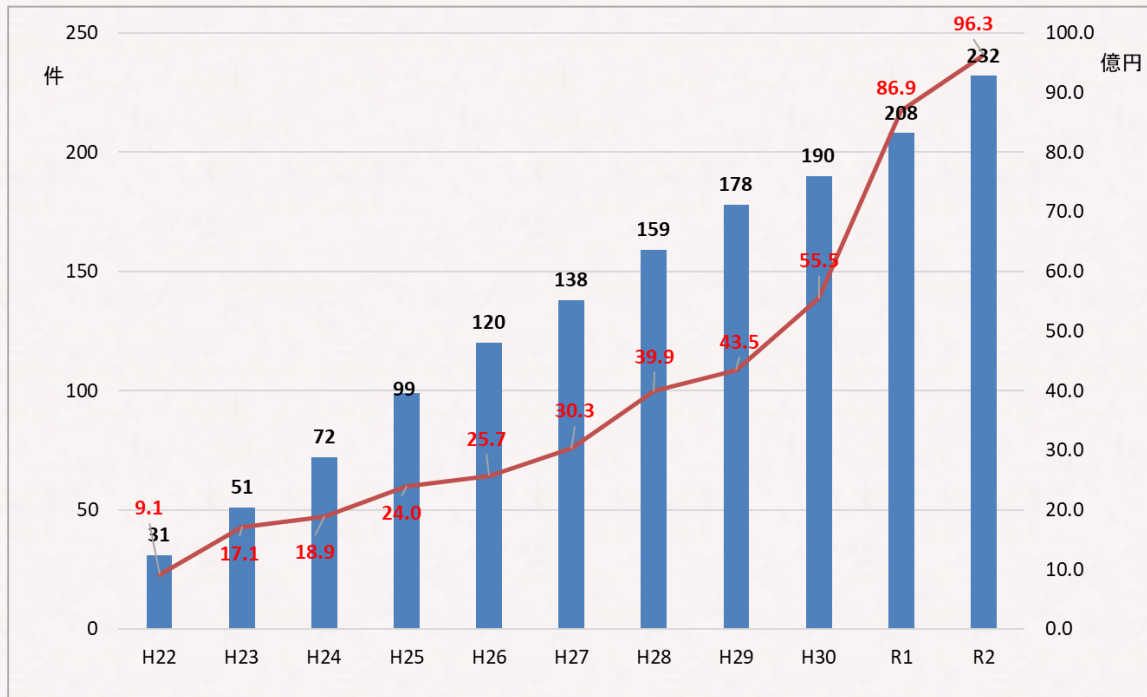


# 令和2年7月豪雨の被害を受けた県南地域の振興

## ②多様な企業等の農業参入促進と地域経済の活性化

新たな農業担い手を確保するために、準備段階から参入後までトータルしてサポート（県南地域を重点化）。

農業参入（参入件数、販売額）



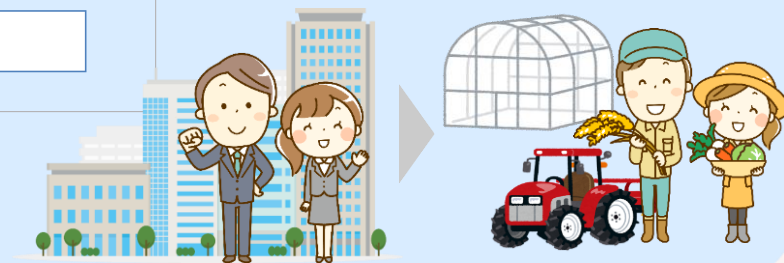
<熊本県調査>

### トータルサポート支援

- 1 参入検討・相談
- 2 農地の確保
- 3 農業技術の習得
- 4 機械・施設等の整備
- 5 フォローアップ<sup>o</sup>



県南地域を重点化



# 令和2年7月豪雨の被害を受けた県南地域の振興

## ③「くまもと県南フードバレー構想」の更なる推進と地場企業の育成

県南地域の製品の付加価値を高め、ブランド力の向上につながる6次産業化や農商工連携の取組みを支援。

6次産業化・  
農商工連携の  
活発化



- 食品加工施設・設備等の整備・導入支援
- アドバイザー派遣による新商品開発等支援



他地域との差  
別化による高  
付加価値化



- 食の安全・安心に係る認証の取得促進 (GAP、HACCP等)
- 県南フードバレーブランド「RENGA」のPR



食のブランド化と  
流通の円滑化

地元消費（地産地消）  
の推進

令和2年7月豪雨の  
被害を受けた  
県南地域の振興

熊本県農林水産業のブランド力・生産力・流通力の向上

**熊本県 = 食料供給基地** としての機能強化

（お問い合わせはこちら）

熊本県農林水産部 流通アグリビジネス課

☎ 096-333-2470 担当 本岡、尾方

